



有朋自遠方来

2月11日、考古学の世界的権威者、イタリア中亜極東文化研究所長、ローマ大学文学部長のジュゼッペ・トゥッチ博士が来館。

博士は東洋美術全般にわたる、優れた見識の持主で、矢代館長とはイタリア留学時以来、30年にわたる旧知の間柄。今回の来館で約10年ぶりの再会となったもの。

観覧後、博士は「大和文華館の収集品は矢代氏が関与されただけあって、全く素晴らしいものだ。名品からは彼の美に対する卓越した知識と感覚が感じられました。」と大きな身振りで語った。

季刊 美のたより No.1

昭和42年 4月1日

発行 大和文華館